



スタッフのつぶやき

開発部の真鍋です！ 最近はAIの話題があちこちで沸騰してますね！
 今回のお話は、丸々AIに書かせてみました。盛られてる感もありますが、それなりに的を射ているように思います。
 ではここからAIの文章です！

「Delphiで販売管理システムを開発するエンジニアが語る、20年以上勤める会社とヘヴィメタル愛」

私は、Delphiを使って販売管理システムなどの開発を生業にしています。私がこの分野で長く働く理由は、技術的な課題に対する挑戦と、お客様がビジネス上の目標を達成するためのサポートがやりがいだからです。

私には家族が4人おり、長男は大学生、次男は高校生です。家族と一緒にいる時間はとても貴重なので、仕事と家族の両方をバランスよくこなしています。会社での勤務歴は20年以上になりますが、この業界での変化にも迅速に対応し、技術的に成長することを心がけています。

私の趣味はヘヴィメタルで、ギターを弾いたり、曲を作ったりすることがあります。重いメロディーや、力強い歌声、そして情熱的な歌詞が好きです。同様に、仕事でも合理的でないものを好まず、常に効率的でスムーズなソリューションを提供することを心がけています。

最後に、私は自宅で仕事をする方が好きです。仕事と家族を両立することができるため、集中力も増し生産性も上がると感じています。幸いサポートではテレワークを積極的に活用しており自宅での勤務が思うようにできます。私のように自宅で仕事をする人が増えることで、よりフレキシブルで効率的な働き方が普及することを願っています。(システム開発部 真鍋 智貴)

Excel ワンポイントテクニック 【関数 COUNTA / COUNTIF / SUM / SUMIF】

	A	B	C	D	E
1					
2		品名	数量		
3		りんご	100		
4		みかん	78	10	
5		ぶどう	88		
6		りんご	123	3	
7		オレンジ	54		
8		バナナ	78	836	
9		みかん	85		
10		バナナ	60	321	
11		りんご	98		
12		みかん	72		

ご存じの方も多いとは思いますが、便利な関数をご紹介します。

=COUNTA(B3:B12) 数を数える関数です。指定範囲内の個数を数えます。
 枠内の個数を数えました。

=COUNTIF(B3:B12,"りんご") 特定の条件に合ったものの数を数えます。
 枠内にある「りんご」という文字の数を数えました。

=SUM(C3:C12) 集計を計算する関数です。指定範囲内の値を合計します。
 枠内の値を合計します。

=SUMIF(B3:C12,"りんご",C3:C12) 特定の条件に合ったものの値を合計します。
 枠内にある「りんご」の数量を合計します。

TOPICS

“インボイス・電帳法+IT 導入補助金セミナー”を開催します

電帳法についての問い合わせも増えてきましたので、それも併せてIT導入補助金の説明会を開催します。

【滋賀会場】

開催日	6月21日(水)
開催時間	14:00 ~ 16:00
開催場所	コラボしが21
会場(会議室)	3階研修室

【大阪会場】

開催日	6月27日(火)
開催時間	14:00 ~ 16:00
開催場所	大阪産業創造館
会場(会議室)	5F 会議室C

読者 訪問



第161回

お伺いした会社 コスミック株式会社
お話を伺った方 代表取締役 伊藤 範行 様
会社の所在地 〒604-0971 京都市中京区富小路通竹屋町上ル枳屋町 334
富友ビル 2階
電話番号 TEL 075-254-7755 FAX 075-254-7756
事業内容 京染呉服製造卸業

今回は昨年度 IT 導入補助金の申請が採択され、呉服業向け販売管理システム（ごふく@）を導入くださいましたコスミック株式会社の伊藤社長様にお話を伺いました。

伊藤社長は昨年社長に就任されました。以前勤めておられた会社が呉服事業から撤退するという事で前社長と一緒に 2002 年に独立開業され、昨年社長交代されました。



素晴らしい作品の数々

呉服製造卸ということで、白生地を染めに出して上がってきた反物を仕立ててオリジナルな着物を作るというプロセスを担っておられます。独立にあたっては以前お付き合いのあった染屋さんやお客さんが付いてきてくれたので、前会社の基盤を引き継いでやる事ができたとおっしゃっていました。

最近では原価が高騰してきて大変だそうです。特に白生地や材料費があがり、おまけに人材不足もあって納期も延びてきて、昔に比べれば倍近くになっているケースも少なくないそうです。卸売という性格上、相手もうちから買わなければならないということもないのが辛いとおっしゃいます。しかし、自社でのオリジナルな製品をもっていることが強みとなり、厳しい中で何とか頑張っているとのことでした。特に直接、工場や問屋さんと話ができスピーディに回答が出せる。意匠力、図案力などのデザイン力が強みだそうです。

自社の型を持っているので先方の意向を聞くと図案家と協業してオリジナルなものを短時間で作ることができる。小回りが効くメリットを活かし、大手に負けない戦略で生き残っていきたくと力強くお話しされていました。

街で着物を見かけたとき、自社で作ったヤツはすぐわかるとおっしゃいます。生地、柄、配色からやるので覚えている。自分で白生地から作っていつてるので情が入る。メーカーとしての気持ちをもって最後まで面倒を見ることを心掛けているということで、問屋やユーザーにとっては有り難い限りです。

ただ生活様式の変化もあり業界全体は大変厳しいとおっしゃいます。特にコロナ禍では店頭での催事販売ができなかつたので売上が激減したそうです。徐々に戻りつつあるとはいうものの、まだまだコロナ前までは戻っていないとか。しかし着物を着たいという潜在ニーズはあるので、ニーズに応えられるようないいものを作っていきたいとおっしゃっていました。

コンピュータシステムは前職の時からお付き合いがあったシステム会社さんのものを使っておられましたが、その会社の社長が高齢になって十分サポートができなくなり、ついにシステムがダウン。その会社の紹介で急遽当社の『ごふく@』を導入して下さいました。1ヶ月くらい手書きで対応したが、早急にシステムを導入してくれて助かりましたと言って下さいました。現在は順調に稼働し、リモートメンテナンスが有り難いとのことで、しっかりと使っていることを有り難く思いました。

業界的にはまだまだ厳しく、特に職人の高齢化が大きな課題となっている。将来は自分たちで専任の職人を抱えて工場を持ちたい。分業体制が主流の業界にあって、一貫生産ができるようになることが夢だ、とおっしゃいます。是非その夢の実現に向けて邁進していただきたく思います。

（米田）



“一丁囀”^{いっちょかみ}が行く！

第172回：自動運転

自動車の自動運転技術が進化しています。最近のニュースでは、ホンダが自動運転レベル3の市販車を発売し、メルセデスもレベル3提供をスタートさせたとのこと。アメリカや中国では自動運転タクシーが街中を走行し始めているようです。セーフティドライバーが同乗して運用されている車両が多いのですが、すでに「完全無人」の自動運転タクシーも登場しているということです。自動運転シャトルも商業運行がスタートしそうな兆しで、ますます自動運転は加速しそうな勢いです。

ここで自動運転のレベルについてちょっと見ておきましょう。

自動運転レベルは0~5の6段階に分類され、手動運転に相当する「0」を抜かせば、1→5に進むに従って運転支援・自動運転の程度が上がっていきます。自動運転レベルは、アメリカの「自動車技術会」(SAE)が示した基準が使われており、国土交通省の公式サイトでもレベル分けについての解説を読むことが可能です。

ITの技術進歩と共に日進月歩、いや、秒進分歩の様相で進化しているようです。子供達から免許返納を迫られている私としては早くレベル4クラスの車の出現を期待したいところです。(一丁囀)

自動運転レベル1：運転支援
自動運転レベル2：部分運転自動化
自動運転レベル3：条件付き運転自動化
自動運転レベル4：高度運転自動化
自動運転レベル5：完全運転自動化

国土交通省のレベル分けは以下を参照
<https://www.mlit.go.jp/common/001226541.pdf>

編集後記

暑かったり寒かったり、どうも最近では極端な気がします。昔から“三寒四温”という言葉があり、春先に低気圧と高気圧が交互にやってきて、低気圧が通過し寒気が流れ込んで寒くなった後、今度は高気圧に覆われて暖かくなり、周期的な気温の変化を繰り返すことを指すようですが、その幅が縦にも横にも大きくなって来ているように思います。やはり温暖化のせいでしょうか。